

随 想

日本留学のあれこれ

張 辛茹

Zhang Xin Ru

日本に来て、もう一年半になりました。正直に言えば、まだゆっくりと日本を見る余裕はありませんでした。私にとって、ここ日本のリズムは激戦状態みたいです。日本の豊かさは、日本人の努力の結果だということが深く感じられました。

温和な気候に包まれ、四季の彩りをみせる日本の風土は私の期待していたとおりで、美そのものです。交通機関は実によく整備され、ことに鉄道は、その時間が正確に能率的に運行されているのには驚嘆させられます。電車もバスも危険は全くないといってよく、乗りごこちもよいのですが、ただ朝夕のすしづめの混雑ぶりにはへいこうします。でんしゃの車掌・女店員などをみると、ほんとうに楽しそうです。なんとなく生活が明るく、のびのびしています。戦後は、一時苦しかったと聞きましたが、いまわしい過去の思い出もうすらぎ、みな明るい生活をしているようです。

教育も人々がほとんどみんな読み書きができるといったほどにまで普及しています。大学も多いし、図書館も書店もどこにでもあります。これは賞賛に値すると同時に、私にはうらやましいかぎりです。

日本の風俗・習慣にも、いろいろ興味がありますが、何ととっても日本へ来てまだ日が浅いので、余り大きなことは言えません。ただちょっと形式ばっている点がめだちます。一方、若い人たちの間には、古い日本の伝統を忘れ、西洋かぶれをしている人たちがいるように思われます。

ともかく、私が幼いころから夢に描いていた日本と、現実にこの目で見た日本とは、もちろん違ってはいましたが、また別の意味で予想以上のすばらしさに驚いてもいます。私も日本に滞在する間に、あらゆる意味でできうるかぎりの勉強をし、そして、みなさんといっしょに手に手を取って新しいアジアのためにつくしたいと思っています。

(名古屋大学医学部大学院生)